

蒲生干潟周辺の塩分濃度②⑤

Table.1 2020. 12月 塩分濃度(%)

採水点	2020/12/22 (今回)	2020/11/10 (前回)	差
St. 1	3.3	3.2	+0.1
St. 2	1.8	1.6	+0.2
St. 3	採水できず	1.9	-
St. 4	3.3	3.0	+0.3
St. 5	3.3	3.1	+0.2
St. 6	3.3	3.0	+0.3
St. 7	3.3	採水できず	-
St. 8	2.8	3.1	-0.3
St. 9	2.9	2.6	+0.3
St. 10	1.2	2.6	-1.4
St. 11	2.8	採水できず	-

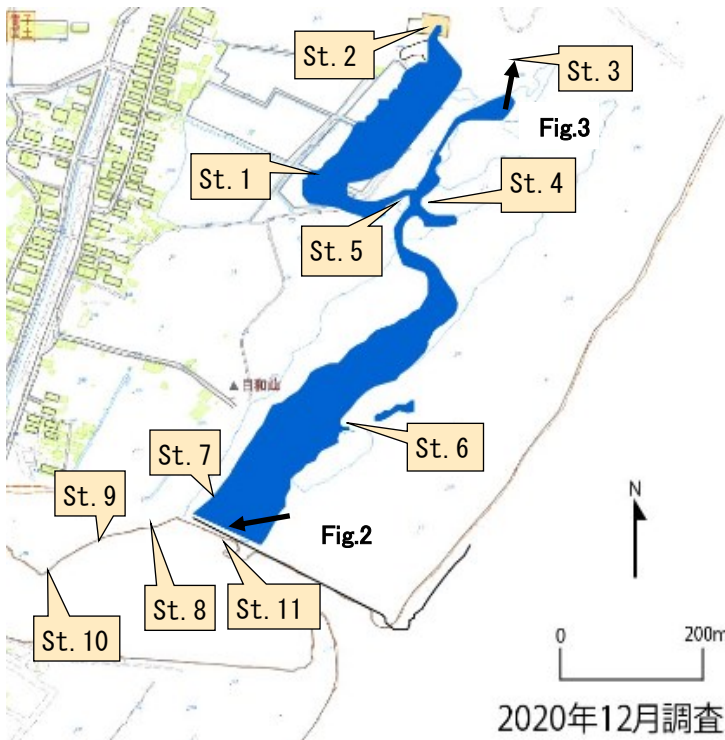


Fig.1 2020/12/22 採水点

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 潟湖南部の導流堤付近のようす



Fig.3 St.3のようす

調査日時：2020年12月22日（火）10：45～12：15，天気：晴れ，満潮時刻9：38（潮位120cm）

満潮時間を過ぎた時間帯での調査。Fig. 1に示す採水点St. 1～St. 11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2020. 12月塩分濃度（%）としてTable. 1に記載し，前回(2020. 11月の同時刻)の結果と比較した。

今回の調査は満潮時間を過ぎた時間帯で行った。今回，潟湖南部の導流堤通水部の工事が完了していたことが確認できた(Fig. 2)。潟湖内の水量は潟湖北部で全体的に少なく，南部が多かった。特に潟湖北部のSt. 3は，水がほぼない状況であった(Fig. 3)。この地点の水量が少ない状況は10月調査時から継続してみられている。

一方，潟湖内の塩分濃度は，調査日の前の週に市内で積雪8cm，12月としては15年ぶり降雪があったが，全体的に高い傾向を示した。要因の一つとして潟湖外からの人工的な水の流入が，これまで確認されていたSt. 3やSt. 6付近，日和山の南側付近で確認されなかったことが挙げられる。引き続き注視していきたい。

(小山康宏)